

小杉 邦夫

ラジオ連続ドラマ「笛吹童子」「紅孔雀」に夢中になって育った世代である。小学生の夏休み、蚊帳の中でラジオから流れる小気味よいリズムと旋律を聞きながら、朝を迎えた。ラベルの「ボレロ」だった。今でもその時のことをよく覚えている。

高校生のころは、両耳イヤホンを自作してラジオ受験講座にかじりついた。ラジオドラマもよく聞いた。個人番号制が導入された社会を描いたものもあつた。半世紀後の今、マイナンバーが制定されたことが感慨深い。

貧乏学生時代は真空管がむき出しになつたラジオ。東京オリンピック中継などを懐かしく思い出している。



小杉邦夫(こすぎ・くにお)
県防災士会会長。
番組「防災コミュニティ」
(毎週月曜14:30、再放送・木曜16:00、日曜6:30)



ラジオとわたし

政橋奈保美

こんにちは! ファイナンシャルプランナーの政橋奈保美です。いつも「まさしFPの金融らいぶ」をお聞きくださり、ありがとうございます。

今回、「ラジオとわたし」というお題をいただき、思い浮かんだのは…。

小学生のころ(確か5、6年生だったと思います)、お友達と「ラジオ収録ごっこ」なるものをしてた記憶。インタビュー役、ゲスト役に分かれ、そのころの最新鋭兵器!カセットテープレコーダー(笑)を駆使し、ラジオ番組を作っていた!?

将来、「金融らいぶ」を担当することを予知していたのかな?(^^)



政橋奈保美(まさし・なほみ)
ファイナンシャルプランナー。藤オフィス代表。セミナー・講演多数。
番組「まさしFPの金融らいぶ」
(第1、3木曜18:18)

「声」に出すと違う世界が…
垣田・北日本文学賞受賞作品の朗読番組を担当している

に、シンプルで多くの方の共感を呼ぶもの、前向きになれたり明日を生きる喜びとなるものを大切にしています。特に観念的な、大きなものをとらえたものが好きですね。

伊東 志乃さん

県川柳協会副会長
女性だけの川柳の会「川柳えんびつさわらび会」会長。
句会は第1木曜9:00～、サンフォルテ2階団体交流室で。
番組「悠々～自分時間」第4週担当
日曜10:00、水曜6:00、木曜12:00



「川柳を世界に発信したい」と意欲を燃やす伊東志乃さん

伊東・思いを吐き出すことは大事ですね。川柳では自分のドロドロした思いだつて作品にしちゃう。そうすると自分の気持ちが軽くなりますよ。

堀地・絵本は声に出して読むことで完成するものだと思います。その言葉が本当に伝わるかどうかは、声に載せた時に分かります。温かみがあるんです。自宅で開いている「かすてら文庫」では、お母さんたちが本の読み聞かせをしています。が、子どもにとっては何より幸せな時間でしょうね。私が本から受けたご恩を今お返ししているのかな、と思っています。



堀地はるみさん

「富山市PTA連絡協議会 良書をすすめる会」OG(現・良書特別委員会)
自宅で「かすてら文庫」を随時開催。詳しくは富山市立図書館まで。
番組「スマイル」内「わくわくすまいるぶっく」
木曜13:20

「子どもの本には素晴らしい作品が多い」と指摘する堀地はるみさん

堀地・子どもの本には素晴らしい作品が多いので、大人の方にもぜひ手に取ってもらいたい。「わくわくすまいるぶっく」の放送をできるだけ長く続けて、皆さん

伊東・生きてりゃいろいろあるわけで、辛く悲しい時でも川柳があることで救われた。だから、川柳の楽しさを多くの人に知ってもらおうことをライフワークにしようって決めたんです。言葉は目に見えないけど、心に残ります。川柳を世界中に発信していきたいですね。

番組「越中むかしものがたり」
毎週水曜18:30、再放送・金曜6:30、土曜11:30、日曜21:30



ナビゲーター:車吉章
越中富山に伝わる昔話や民話を朗読で紹介。「人肌の温もりを感じてもらえるような声『(体温)36度の声』を大切に、自分自身も物語を楽しみながら、お届けしています」

と、作者の「賞を取りたい」という思いや、完成までの苦しみを、文章のはしばしに感じます。上っ面で読んでは失礼。作者の思いや舞台、登場人物に思いを寄せ、さらに自分なりに創造することが大切です。とてもしんどいけれど、だんだん快感になってきました。

堀地・朗読も同じです。教室では、登場人物に自分の気持ちを重ねて、泣き出してしまふ方もいます。でも帰るときには皆さん、すつき

りとされていますよ。見送りがながら、「私、いいことしてるなあ」なんて思っています。

垣田・「水たまりの一滴」になれたらと思っています。ラジオや教室が何かの刺激になって、「楽しかった」

に共感してもらえたらうれしい。

川柳を世界に発信——伊東 子どもの本魅力伝える——堀地 「水たまりの一滴」に——垣田

という波紋が広がってくれたらうれしい。童話作家でもあった詩人、茨木のり子さんに「自分の感受性くらい」という作品があります。「自分の感受性くらい自分で守れ」。この言葉を支えに、これからも続けていきたいです。

富山シティエフエム情報!

スマホ音声ガイドシステム



富山シティエフエムは、スマートフォンを再生端末とした音声ガイドシステムを制作・販売しています。QRコードを読み込むだけで説明音声聞くことができ、大変手軽にご利用いただけます。各種展示会や観光施設、パンフレットなど、解説や説明が必要となるあらゆる場面で活用できます!

制作費: 5万円～
(説明音声の長さによって変わりますので、ご相談ください)

講演会や説明会、コンサート等をラジオ番組として放送しませんか?

講演会や説明会など音声による放送が可能なイベントを録音し番組として放送できます。イベント来場者以外への周知が可能です。コンサートや演奏会では、出演者の思い出にもなります。是非ご利用ください!

料金: 2万円～
(放送料含む)

スポットCMや番組制作など、ご希望に合わせたプランを提案いたします。気軽にお問い合わせください。

問い合わせ先 076-445-3381 E-mail / eigyo@city-fm.co.jp

スタッフ募集中!